

## 活動続けて節目の第10回 小林市民吹奏楽団が定期演奏会

6月4日、小林市民吹奏楽団の定期演奏会が文化会館で開催されました。第2部では、吹奏楽を構成する楽器と団員をユーモアあふれる演出で紹介。NHK大河ドラマ「江」のメインテーマやスーパーマリオブラザーズなど親しみある楽曲のほか、東日本大震の復興への願いをこめた「陽はまた昇る」を披露しました。



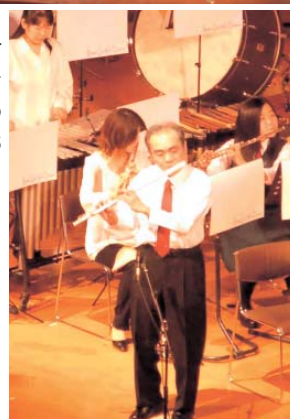
▲第2部の楽器と団員を紹介する場面。打楽器のメンバーは、ポリバケツや洗面器をアレンジしてリズムカルに演奏し、会場をわかせました。



【写真右】園村正晴団長は「今は大変な時代だが、音楽ができる喜びをかみしめ、連携を深めて活動を続けていきたい」とあいさつしました。



▲市民吹奏楽団のこれまでの紹介するパネル展示。



## おいしい牛乳をたくさん飲んで 市内酪農家がモーモースクール

酪農について理解を深めてもらおうと、市内の酪農家が小学校を訪問し、出前教室を開くモーモースクールが行われました。6月7日は、須木小学校で開催。仕事の内容などの話の後には、バターを作る体験学習や牛乳もちの試食があり、おいしく楽しい授業に児童は笑顔で学んでいました。



モーモースクールの最後には、酪農について楽しく学べる酪農カルタが贈呈されました。



千羽鶴は、全部で2700羽。小林小の6年生107人が復興への願いを込め、1週間かけて丁寧に折ったものです。

## 復興の願いを込めた千羽鶴と共に 救援の翼21が被災地で支援活動

6月2日、東日本大震災の被災地支援へ災害支援ネットワーク「救援の翼21」が出発しました。宮城県石巻市で、経営する介護施設が被災した、小林市出身の井上光さんの施設再開支援が今回の目的。出発にあたり、小林小6年生が作った千羽鶴やメッセージなどが託されました。

## 協働のまちづくりの推進へ取り組み着々

### 協働のまちづくり推進委員会が発足

6月12日、協働のまちづくり推進委員会が開催されました。これは、市民と行政の協働によるまちづくりを推進するため、協働のあり方とその施策の検討、市民活動の促進や地域コミュニティ活性化の課題やその解決などを協議するもの。公募を含む10人に委嘱状が交付され、山之口志朗さんが委員長に選出されました。



山之口委員長は「積極的な意見交換で協働を考える場にしたい」と話しました。



肥後市長は「重く受け止め今後の施策に活かしていきたい」と話しました。

### 協働のまちづくり市民会議が提言書

5月31日、協働のまちづくり市民会議が市長へ、地域の課題解決や振興に向けて、市民と行政が協力する協働のまちづくりの推進を求める提言書を提出しました。同会議は、2年間で68回の会議を重ね、フォーラムや座談会を開催。藤香織委員長は「これを契機に、さらに協働のまちづくりを進めてほしい」と話しました。

## 雨の中でも大盛況 第20回メロンフェア

5月28日、のじりこびあで第20回メロンフェアが開催されました。会場には、市価より安く販売されるめろめろメロン（みやざきブランド認証「みやざき温室光センサーメロン」）を求めて5千人が来場。また、郵便局の臨時受付も設置され、贈答用として発送する買い物客も多く見られました。



めろめろメロンは、光センサーで全玉検査し、厳選された糖度14度以上のアールスメロン。安心して食べられるので人気を博しています。



岩下武史教育委員長が一人ひとりに委嘱状を交付。「今年で2年目。昨年度より充実したものになると確信している」とあいさつしました。

## 教師間で優れた授業のノウハウを 共有。モデル委員委嘱式

5月31日、小林中央公民館で小林市校内学力向上モデル委員委嘱状交付式がありました。特に質の高い授業を実践しているなどの教師が推薦され、モデル委員に委嘱。今年は31名が委嘱を受け、授業の公開や教材の紹介などを行い、教師の授業力向上につながる取り組みをすすめていきます。